

# 中 守破離



令和5年9月8日（金）第17号

## 今、求められている力

### 総合的な学習の時間の学び



8月21日（月）～25日（金）の5日間の登校日に、仁方中学校では全学年が「総合的な学習の時間」を中心とした授業を行いました。1年生では「海事産業ものづくり体験講座」、2年生では「キャリアスタートウィーク～職場体験学習」、3年生では「進路探求学習～高校の先生方の出前授業&面接指導」。どの学習も中身の濃いものでしたが、大切なのはこれからです。しっかり学習内容をまとめていきましょう。

このように、総合的な学習の時間では、自分たちの生活や暮らしを見つめ、課題を発見し、その課題を解決していく探求的な学習に取り組んでいます。ただ調べるだけでなく、他の人たちに伝える表現活動（発表会）にも取り組みます。総合的な時間の学習活動で身につけていく、探求的なものの見方・考え方や思考力・判断力・表現力は、各教科の学習で身につける学力を支え、さらに発展させていきます。

このような総合的な学習の時間の成果が力を発揮するのが高校入試です。広島県の公立高校の入試問題を見ればそれがよくわかります。基礎的な「知識」「技能」はもちろん大切ですが、どの教科でもグラフや表にまとめられた統計資料などを見ながら「何が課題なのか」「なぜそうなったのか」「自分はどうか考えたのか」といったことを記述形式で答える問題が多く出題されています。



総合的な学習の時間で様々な探求的な学習や課題発見・解決学習に取り組んでおくことが、自分自身の進路を決定していくことにつながっているのです。さらに、昨年度から始まった新しい試験科目「自己表現」においても、「総合的な学習の時間」での様々な取組や経験が重要になってくるのは言うまでもないことです。

1年生は、さっそく夏休みの学習のまとめを行っています。様々な工夫を凝らした発表が準備されているようでとても楽しみです。2年生も同様に夏休みの3日間の職場体験を去年までとは少し違う形でまとめていく計画のようです。そして3年生は、去年までにはなかった「防災学習」に取り組みます。私たちが暮らしている仁方の町の防災の在り方について、中学3年生の視点で学習していきます。どの学年も、頑張ってください。

## 1年生 海事産業ものづくり体験講座



## 2年生 キャリアスタートウィーク・職場体験学習



## 3年生 進路探求学習～出前授業&面接指導

